

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	東洋建築史小委員会		主査名：黒津高行 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：後藤 治 主査名：
設置期間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋建築史学の方法論の研究 ・ 東洋建築史学の教育・研究および専門家育成に関する継続的な情報収集 ・ 東洋諸国における建築的遺産の保存・修復に関する調査研究とそれらの情報収集 および国際協力への寄与 ・ 研究成果の公表（シンポジウムおよび公開研究会の開催と記録の刊行等）など。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 上野邦一（奈良女子大学）、大田省一（京都工芸繊維大学）、岡田保良（国士舘大学）、 小野邦彦（サイバー大学）、黒津高行＜主査＞（日本工業大学）、重枝豊（日本大学）、 下田一太（文化庁）、中西章（フリーランス）、西本真一＜幹事＞（日本工業大学）、野々 垣篤（愛知工業大学）、林英昭（ものづくり大学）、福田美穂（大阪市立大学）、 山田幸正（首都大学東京）、山根周（関西学院大学）		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2016 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：rekisi/s2/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	参加者数 名 参加者数 名
大会研究集会	参加者数 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 若手研究者のための情報発信および情報交換の場としての役割を果たした。 2. 委員会としての研究課題として、「連続講演会・組積造研究の現在(仮題)」を企画し、 組積造の呼ばれる構築方法の全貌把握のための討論の場をスタートさせた。 3. アジア文化遺産に係る国際会議や近年の研究状況等について情報収集できた。
委員会活動の問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究課題を共有する催し物の企画。 ・ 図集改訂作業の再確認、あるいは図集に代わる新たな企画の試みが求められる。 ・ ホームページ RAHMA 更新に向けての課題抽出。 ・ 若手研究者の委員会活動への参加。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。